

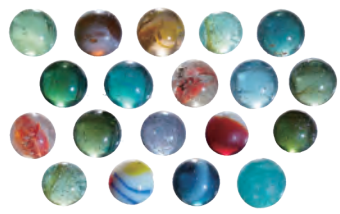
# 発掘された昭和のくらし

## 大赤穂と戦争の時代



会期 10. 18 ~ 2. 4

(12. 28 ~ 1. 4 は休館)



赤穂市立有年考古館



# 発掘された昭和のくらし

## — 大赤穂と戦争の時代 —

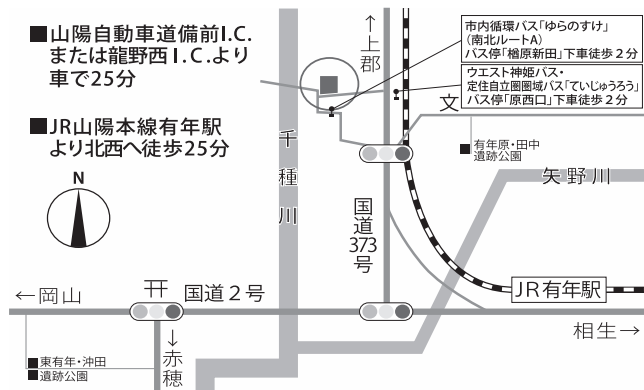
昭和12(1937)年、赤穂町・尾崎村・塩屋村・新濱村の4町村が合併し、新体制の赤穂町は当時「大赤穂町」とよばれました。

「躍進する大赤穂」の中心であった現在の加里屋地区は、赤穂町内のみならず、赤穂郡内随一のにぎわいをみせ、近代的大衆文化が育ちつつありました。



赤穂城下町の発掘調査(平成28・2016年)

今回の展示では、大正・昭和初期に花開いた赤穂町の豊かな都市文化が、戦争によってどのように変化していくのかを、発掘調査で出土した遺物から紹介します。



昭和二十二年五月十一日  
(報七十第)報時風士(可認物便郵種三第雷三才野野)

### 大赤穂の誕生を祝して

兵庫縣赤穂高等女學校長  
唐津新藏

凡て二つ以上のものが一つとなる時、必ずその兩者に適合すべき要素が存在する。この事實は宇宙間のあらゆる現象について言ひ得る。人生現象として融合、合併といふことを成立せしむる要素は親和力又は融和力と考へられる。これが合併の最大條件である。之を今回の四ヶ町村合併について見るも、其々の町村に共通せる要素を持つてゐる、即ち愛情

### 躍進大赤穂町の合併を祝す

赤穂別院住職 久留米正儀

久しき沈黙の淵を脱ぎ去りて香煙に薫らるる脚人もあらんか、それでは踊るる光明は漸に大赤穂町の頭上に輝々と輝き初め、躍進の第一歩として既に購買すべき合併は完了し、今や恩恵を受ける我輩赤穂士民にとつて大いに祝慶し且慶はしき大日座であらねばなりません。郷土大赤穂町は義士發祥の聖地と

「大赤穂町」の誕生を祝う新聞記事(『土風時報』昭和12・1937年)

しかし、華やかな都市文化とは裏腹に、この時代には日中戦争が開戦、日本が戦争へ突き進む時代でもありました。

昭和16(1941)年の太平洋戦争開戦が近づくにつれ、しだいに豊かな大衆文化は影をひそめ、人々の生活は大きく変わっていくこととなります。



統制陶器・代用陶器ほか(昭和15・1940年)

うね

## 赤穂市立有年考古館

〒678-1181 兵庫縣赤穂市有年榎原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

よく みよーばば

**入館無料**

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日  
年末年始(12月28日～1月4日)

■開館時間■ 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索!